

社 報



他の人がやらないことをやる

ちょロックを撮影しました

11月28日(月)に妙法院の現場でちょロックの販売に向けて、製品の撮影を行いました。ちょロックはターンバックルとチェーンが不要の角締め金物です。

これの利用が進めば、型枠工事の角締め作業は作業効率が向上することは間違いないところですよ。



ピンポイント工法の計算ご依頼がひっきりなしにあります。

受注ベースでは今年の同時期に比べて4000万円以上のペースでご依頼を頂戴しております。

売上ベースでも昨年同時期より1500万円以上の伸びを示しています。

ご依頼をいただくのは、日本全国各地から、元請様や型枠事業者様からです。

もはや、型枠早期解体計算のデファクトスタンダード(事実上の標準)となりそうな感じです。

ライバル会社としては、マイコンサルタント社のクイックアップ工法があるのですが、どちらが良いかはお客様の選択で当社自らが評価するものではないと思います。

いずれにしても、全国で2社しかないとなると、価格的にも主導権を得ることができますので、利益の確保もしやすくなります。

他にやるところがなければ、価格の主導権を得やすいですし、これ

が、世間で評価されれば、売上の増加にもつながり、会社もどんどん成長路線に乗ることができます。

組み合わせ型システム型枠「ガッチ」も当社の独自開発商品ですので、特許を取得していることあり他の人が取り組むことはできません。「ガッチ」は以前として、売上は低迷している状態です。

この状態を打破できるかどうかわかりませんが、今月の17-19日には、ラスベガスで行われる、ワールド・オブ・コンクリートと言う、コンクリートに関する世界最大の展示会に参加してきます。

なにがきっかけになるかは、やってみないとわかりません。

今までに経験のないことをするのは成功の確率も低いのですが、それを承知でチャレンジすることは意義のあることだと信じます。

最初から大成功が約束された、チャレンジなどあるはずがありません。他の人がやらないから、やる値打ちがあると思うのです。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

災害が多くて残念な年でした

昨年は右の表のとおり、災害が多い残念な年となりました。不休災害ゼロが2年連続で続いた時期があったかと思えば、昨年のような年もあり、災害防止の道は、やはり難しいと実感しました。

近年の災害のほとんどが、人間による不安全行動に起因する事故と

なっており、人間の行動は本人の意思に左右されますので、上司や先輩がやかましく言っても、コントロールできるものではありません。

精神論みたいなことになってしまっていますが、一人ひとりが安全意識をしっかり持って、行動をコントロールしなければなりません。ご安全に。

2022年 安全成績

■ 現場災害 2022.1.1-12.31	
休業災害	----- 3
不休災害	----- 3
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 6
■ 交通災害 2022.1.1-12.31	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 4
合計	----- 2